

共通教育におけるフィールドワーク及び学外授業実施に関するガイドラインについて

平成 31 年 1 月 21 日
共通教育センター企画専門部会決定

フィールドワークや学外授業（以下、学外授業という）は、適切な状況で実施されれば高い教育効果を期待できる半面、適切でない要因を含んでいると参加者の安全確保に支障が生じたり、実質的な学習時間の確保、受講生全員への公平な学習機会の提供といった教育上の質保証が担保できなくなる恐れもある。特に、教養科目における主題探究型科目では1クラス50名、学問分野別科目では1クラス150名程度の学生が受講する。この人数の学生が、90分間の授業時間内において、教室から学外の指定箇所に全員で安全に移動し、そこで教員の十分な指導の下に学外授業を行い、全員で安全に教室内へ戻ることは、たとえ近距離であってもたやすいことではない。

一方、学外授業を正規の授業時間外（放課後や休日等を含む）に実施すると、その時間帯に参加できない学生や、その時間帯の他の予定をキャンセルせざるを得ない学生が現れる可能性がある。特に教養科目においては、履修登録時の抽選により第1希望でない科目を履修する学生もいるため、たとえシラバスで正規の授業時間外での実施を予告しても、それに対応できない学生が履修している可能性を排除できない。共通教育では、この基本的な問題を、全学共通の時間割を策定し、各授業はその時間割の枠の中（つまり正規の授業時間内）で開講することで解決している。学外授業も正規の授業の一部であるから、正規の授業時間内（集中講義においてはその実施期間内）での実施が原則である。

学外授業の実施に当たって、担当教員は往復の移動も含めて参加者の安全確保に十分配慮するとともに、万が一事故が発生した場合の措置についても準備をしておく必要がある。また、上記のような教育上の質保証にも十分に配慮する必要がある。

このような観点から、共通教育において学外授業を実施する場合、担当教員は下記の事項に従うものとする。

1. 予めシラバス等に学外授業の実施予定日等の情報を明記し、学生が履修登録をする前に確認できるようにする。
2. 学外授業を正規の授業時間内に実施する場合、教室と目的地の往復移動のみに授業時間の半分以上を費す計画は立てない（正味の授業時間として半分以上を確保する）。
3. 学外授業の参加者氏名と人数を予め把握する。主題探究型科目と学問分野別科目においては、全員参加を基本とし、参加者数が履修登録者数の半数以下である場合、授業とせず、正課外の活動とする（この場合、学外授業届は提出不要）。
4. 学外授業は、必ず教員が引率し、教員の指導の下に実施する。必要に応じて引率者を増員する等、安全確保に努める。

5. 学外授業実施の3週間前までに、各項目を適切に記入した共通教育科目学外授業届(様式1)を提出し、共通教育センター長の許可を得る。特に、正規の授業時間外(集中講義においてはその実施期間外)に学外授業を実施しなければならない特別な理由がある場合は、その理由を明記する。
6. 学外授業が許可されなかった場合、代替えのプログラムで授業を実施する。
7. 学外授業実施後に、共通教育科目学外授業実施報告書(様式2)を提出する。

附 則

- 1 このガイドラインは、平成31年4月1日から施行する。
- 2 フィールドワークに関するガイドラインについて(平成28年10月17日共通教育センター企画専門部会決定)は廃止する。

共通教育科目学外授業届 (科目帯)

【様式1-1】

年 月 日

共通教育センター長 殿

所属

教員氏名

授業科目名		時間割番号	
開講曜日時限	年度 学期 (第 クォーター) 曜日 時限		
履修登録者数	名	参加予定者数 (名簿を添付)	名
学外授業実施予定日時： 月 日 () 時 分 出発 ～ 時 分 帰着			
場所：			
経路及び移動手段：大学 ～			
往復の移動時間 (予定)： 分間			
引率者 (複数可)：			
学外授業時の 教員携帯電話番号： — —		学研賠 加入確認済： <input type="checkbox"/>	
学外授業の目的 (実施する理由)			

事前指導の内容

学外授業のスケジュール・移動方法・安全管理への対応・雨天時プログラム等（頁や資料の追加も可）

特記事項（正規の授業時間外に実施する理由等）

（提出先：教育センター事務課共通教育チーム）

共通教育科目学外授業届 (集中講義)

【様式1-2】

年 月 日

共通教育センター長 殿

所属 _____

教員氏名 _____

授業科目名		時間割番号	
集中講義実施期間	年度 月 日 () ~ 月 日 ()		
履修登録者数	名	参加予定者数 (名簿を添付)	名
学外授業実施予定日時： 月 日 () 時 分 ~ 月 日 () 時 分			
場所：			
引率者（複数可）：			
学外授業時の 教員携帯電話番号： — —		学研賠 加入確認済： <input type="checkbox"/>	
学外授業の目的（実施する理由）			

事前指導の内容

学外授業のスケジュール・移動方法・安全管理への対応・雨天時プログラム等（頁や資料の追加も可）

（提出先：教育センター事務課共通教育チーム）

共通教育科目学外授業実施報告書

【様式2】

年 月 日

共通教育センター長 殿

所属

教員氏名

授業科目名			時間割番号		
履修登録者数	名	参加予定者数	名	実際の参加者数 (出欠表を添付)	名
学外授業実施日時： 月 日 () 時 分 ~ 月 日 () 時 分					
場所：					
実際にかかった往復の移動時間： 分間 (集中講義では記入不要)					
引率者 (複数可)：					
学外授業の実施状況 (事故の有無及び事故発生時の対応状況を含む。裏面も使用可)：					

(提出先：教育センター事務課共通教育チーム)